

各関係機関の長 様
(農政担当)

岐阜県病害虫防除所長

病害虫発生予察情報について (送付)

このことについて、下記のとおり発表したので、指導上の参考にしてください。

記

平成28年度病害虫発生予察特殊報第1号
(ハウレンソウベと病レース12)

平成28年度病害虫発生予察特殊報第1号

平成28年10月3日
岐 阜 県

1 作物名 ホウレンソウ

2 病害虫名 ホウレンソウベと病レース12

(*Peronospora farinosa* (Fries)Fries f.sp.spinaciae Byford (Race12))

3 発生状況

平成27年12月、県内の冬春ハウレンソウにおいて、本病レース1～10に抵抗性を有する品種「弁天丸」および本病レース1～11に抵抗性を有する品種「早生グローリー」にて本病の発生が確認され、新レースの発生が疑われたため、本県農業技術センターより国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構野菜花き研究部門へ検定を依頼した結果、本県では未確認の本病レース12であることが確認された。

4 病 徴

ハウレンソウベと病菌は、レースによって病徴に違いはなく、はじめ、下葉の表面に健全部との境界に不明瞭な黄白色の小斑点を生じる。病斑はその後拡大し、淡黄色または淡紅色の不正円形の病斑となり(図1)、病斑部の裏側に灰紫色粉状のかび(分生子)を形成する(図2)。さらに症状が進展すると、葉全体が黄化し枯死に至る。

5 病原菌と伝染経路

病原菌 (*Peronospora farinosa*) は糸状菌の一種で、卵菌類に属する。本菌は種子伝染および空気伝染する。

6 防除対策

- (1) 本病レース12に抵抗性を有する品種を使用する。なお、本病レース12に抵抗性を有していない品種を発病の恐れのある時期に作付する場合、発病後の防除は困難であるため、発生前から薬剤散布を行う。
- (2) 発病が見られた場合は発病葉を取り除き、本病に対して有効な薬剤を下葉や葉裏にかかるよう丁寧に散布する。
- (3) 低温多湿条件で多発するため、ほ場の排水や通風、採光を良好にする。また、葉の過繁茂は発生を助

長するため、肥培管理に注意する。

- (4) 発病株や罹病残渣をほ場内に放置すると次作の伝染源となるため、速やかにほ場外に持ち出し処分する。
- (5) 農薬は最新の登録情報 (http://www.acis.famic.go.jp/index_kensaku.htm 農林水産消費安全技術センター) を参照し、適正に使用する。



図1 葉に形成された不正円形病斑



図2 葉裏に形成された灰紫色粉状のかび